

現しにした大屋根と吹抜が家じゅうをつなぐ

所在地: 埼玉県ふじみ野市  
 設計・総合: サイト・アーキテツ+小口亮建築計画事務所  
 構造: 木質構造デザイン工房  
 施工: 山崎工務店  
 構造/規模: 木造軸組構法/2階建  
 面積: (敷地) 181.05㎡  
 (1階) 88.19㎡  
 (2階) 56.41㎡  
 (延床) 144.60㎡  
 竣工: 2010年4月

屋根の構成: ガルバリウム鋼板瓦棒葺き  
 アスファルトルーフィング  
 針葉樹合板t12  
 通気垂木30×80@455  
 スタイロフォーム3種t50  
 構造用合板t24WSCL塗り



仕事室内観

上の間からリビング 階段室の吹抜を見る



リビング吹抜見上げ

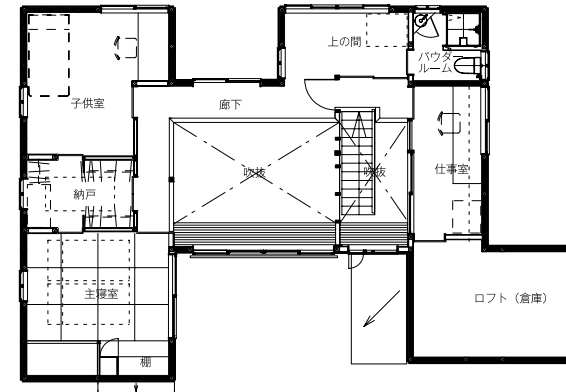
納戸前からリビング 階段室の吹抜越しに仕事室を見る



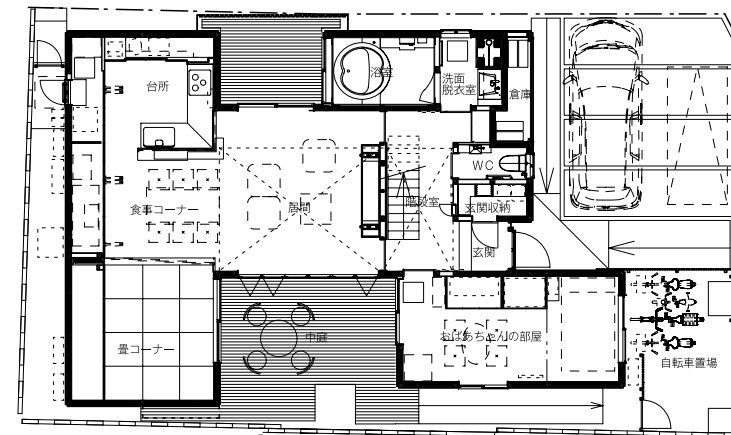
建物外観



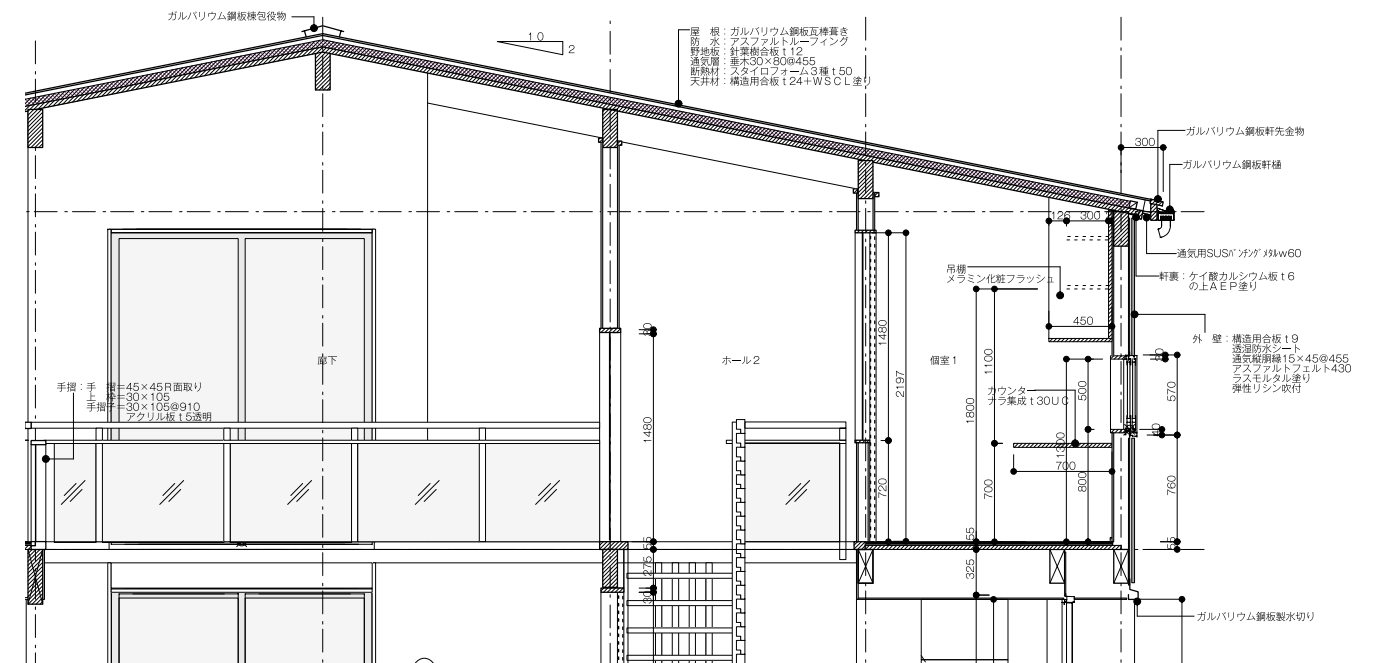
平面図・2階(1/200)



平面図・1階(1/200)



断面詳細図(1/50)



住宅について

両親とこの春小学校に入学した娘さん、そのおばあさんという3世代の4人の住まいである。家族それぞれが持つ自立した世界に相応しい各人のための自立した空間を確保しながら、同時にいつも家族とのつながり、ひとつ家に住まっているという感覚を共有できる空間構成を考えた。そのために、内部空間全体をやわらかくつなげるしつらえとして、内外を相貫する吹抜と家全体を覆う大屋根を設け、閉じた部屋の中でもひとつつながりの勾配天井の下で家族の一体性を感じられ、部屋を出ればどこにいても吹抜を介して家族の気配が互いに感じられるひとつながりの計画とした。

屋根と合板について

屋根構面の水平剛性は、登りばりに厚さ24mmの構造用合板くぎ打ちとして勾配屋根で確保している。これらの厚物合板と登りばりはいずれも現しとするため、大壁の壁は屋根架構の下で止めている。登りばりは造作の木部と同じく艶消しの汚れ止め塗装のみで木肌をそのまま見せ、厚物合板のみ木目のばらつきをおさえ統一感をつくりだす意図でやや濃い目の茶色で染色を施している。厚物合板の上に通気垂木を配置して断熱層、通気層を設け、極力シンプルなしつらえで温熱、耐久性能を確保している。軒、けらばは出寸法が小さいこともあり、厚物合板とその上の通気垂木でもたせるつくりとしている。